

都市再生整備計画

たんようちょうしゅつちょうじょしゅうへん ちく
丹陽町出張所周辺地区

(第2回変更)

あいちけん いちのみやし
愛知県 一宮市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	一宮市	地区名	丹陽町出張所周辺地区	面積	34 ha
計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度	交付期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度				

目標
 誰もが安心・快適に暮らせるまちづくり
 ・災害等に対する安全・安心の確保
 ・河川で分断された地域間の交通便利性の向上

目標設定の根拠
都市全体の再編方針
 ・本市は、歴史的な街道や早くから整備された鉄道に沿って、市街地の骨格が形成されました。また、旧町村の合併により市域が拡大してきたことから、多くの集落を有する分散型の地域構成を形成しており、公共交通（鉄道・バス）や高速道路が充実した交通便利性の高い都市であるとともに、清流木曾川に接し、郊外には農地や社寺林が点在するなど豊かな自然を感じることができる都市でもあります。これら本市の特徴を活かし、尾張地域を代表する中核市（2021年4月移行）として、将来見込まれる人口減少や高齢化の進行も考慮した、だれもが住みよいまちづくりを目指す。特に、転入超過傾向にある子育て世代や増加していく高齢者を対象とし、安心して子育てができ、高齢者がいきいきと暮らせる環境の整備を進める。
 ・一宮駅周辺を【都市拠点】として位置付け、高次の都市機能を集約し、それを補完する尾西庁舎周辺及び木曾川駅周辺を【副次的都市拠点】とする。また、郊外部では出張所、小中学校等の身近な便利施設が集積した地区を【地域生活拠点】として3つの拠点に分け、都市拠点と他の拠点を結ぶ公共交通ネットワークの維持及び更なる充実をすることで、多拠点ネットワーク型都市を形成し、人・モノ・情報の交流を促進する。
 ・本市は洪水や地震による液状化などの被害を受けやすい地形となっており、災害リスクの高い地域も存在するが、堤防整備や河道改修、下水道施設整備、避難所の耐震化などのハード面での取り組みに加え、住民に対する危険箇所の周知や防災訓練を通じた避難体制の確立などのソフト面でも防災・減災に取り組み、また、土地利用の適正な規制と誘導を図ることにより、安全・安心な暮らしの確保を目指す。

まちづくりの経緯及び現況
 ・本地区は、一宮市の中心部である市役所より南東に約5kmに位置し、古くから集落を形成し、耕地整理により整備された地区で、その周辺においては国道22号や名神高速道路等のインフラ整備が進められ、市南部の主要な玄関口として位置付けられている。また、隣接する地域においては、土地区画整理等の整備により住みよいまちづくりが進められ、本地区の一部についても平成30年度より土地区画整理事業が施行され、国道22号東側の広大な水田のスローラ化防止、西側の密集した集落の狭隘道路対策等による計画的な都市基盤施設整備により、居住環境の向上を図っている。
 ・近年多発している大規模災害により市民の防災への関心は高く、災害に強いまちづくりが望まれているが、本地区は南に一級河川緑葉川、西に準用河川千間堀川と河川に囲まれた地形であるにもかかわらず地域間を結ぶ橋梁の幅員は2～4mと狭小であり、円滑な通行の妨げとなっており、災害時の避難の際には大きく迂回せざるを得ない状況にある。また、新川特定都市河川流域に存しており、河川改修事業等により浸水対策を実施してきたが、他事業との関連で一部未整備による流水阻害箇所があるため、依然として、浸水被害が発生しており、地域住民から更なる排水対策が望まれている。
 ・本地区は人口減少が見込まれる将来においても人口増加が見込まれ、既存都市機能は不足しているが、人口増加に伴い、都市機能への需要の高まりが予想されている。また、市内11ある地域生活拠点の中でも特に丹陽町出張所周辺地区については、市南部の副次的都市拠点に並ぶにぎわいの核となる拠点の形成を目指しており、都市機能の誘導の促進、ソフト・ハード両面での防災・減災対策を実施することで子育て世代や高齢者が安心・快適に暮らせるまちづくりを目指している。

課題
 ・災害時に迅速に通行できる道路の確保が喫緊の課題。
 ・橋梁部における河川の流水阻害箇所により、良好な排水の支障となっている。
 ・河川で分断された地域をつなぐ橋梁幅員が狭小であり、地域間の円滑な交通の支障となっている。
 ・良好な雨水排水経路が確保されていないため、度重なる浸水被害が発生しており、一宮外崎土地区画整理事業の実施とともに、雨水排水経路を見直し、面的な浸水対策を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)
【第7次一宮市総合計画】
 ・「木曾の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を都市将来像とし、「健やかにいきる」「快適にくらす」「安全・安心を高める」「活力を生み出す」「未来の人材を育てる」を実現する施策を進める。
【一宮市都市計画マスタープラン】
 ・将来見込まれる人口減少や高齢化の進行も考慮しただれもが住みよいまちづくりを進めるため、本市の歴史や現在の暮らしに対応した拠点の形成を図り、これらを公共交通などでネットワーク化し連携する、多拠点ネットワーク型都市の実現による持続的発展を目指す。
 ・本地区は、災害に強く安全性の高い市街地形成及び、市南部のにぎわいの核を目指し、都市機能の充実、多様化を図る。
【一宮市立地適正化計画】
 ・「子育て世代や高齢者が安心・快適に暮らせるまちづくり」を目指す。
 ・災害の発生の恐れのある区域を避けることを基本に、ソフト・ハード両面での防災・減災対策を実施し、都市機能及び居住を誘導する。
 ・本地区は、市南部における副次的都市拠点に並ぶ新たな拠点の形成のため、公共交通の充実、生活に必要な都市機能の誘導を促進する。

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・「子育て世代や高齢者が安心・快適に暮らせるまちづくり」を目指す。
- ・子育て世代、高齢者の利便性向上を図るため、【介護福祉機能】、【子育て機能】、【商業機能】、【医療機能】を誘導する機能とする。
- ・本地区は市南部における副次的都市拠点に並ぶ新たな拠点の形成のため、公共交通の充実、生活に必要な都市機能の誘導を促進する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

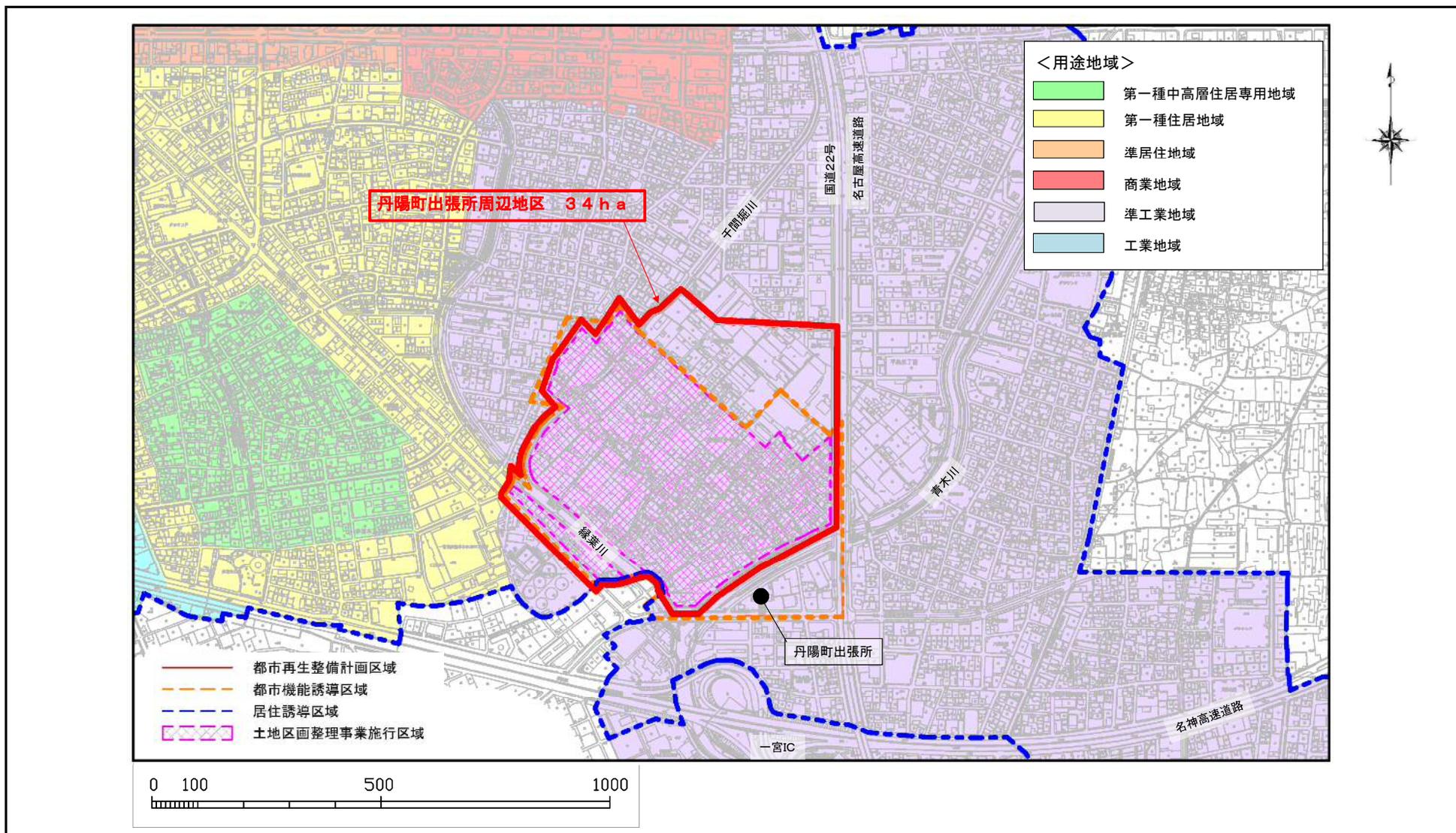
- ・本地区内で実施される一宮外崎土地区画整理事業により、都市機能を確保し暮らしやすく質の高い居住環境を創出する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
防災対策への満足度	%	災害に強いまちづくりができていると感じる市民の割合	橋梁整備・雨水排水路整備による防災性・安全性の向上を市民の満足度(アンケート)により評価する。	20.7%	R2	22.8%	R7
緊急車両の到着時間	%	消防出張所から宅地までの到着時間の短縮割合	橋梁整備による新たな通行ルートと、従来の通行ルートとの到着時間の比較により時間短縮を評価する。	100%	R2	70%	R7
まちづくりに関する勉強会等の参加人数	人	事業地区における住民協働まちづくり勉強会等の平均参加人数	橋梁整備による地域間の円滑な交通による地域コミュニティの活性化を勉強会等への参加人数の増加で評価する。	85人	R1	95人	R7

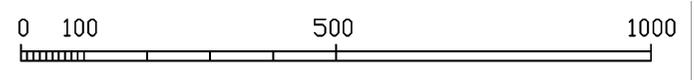
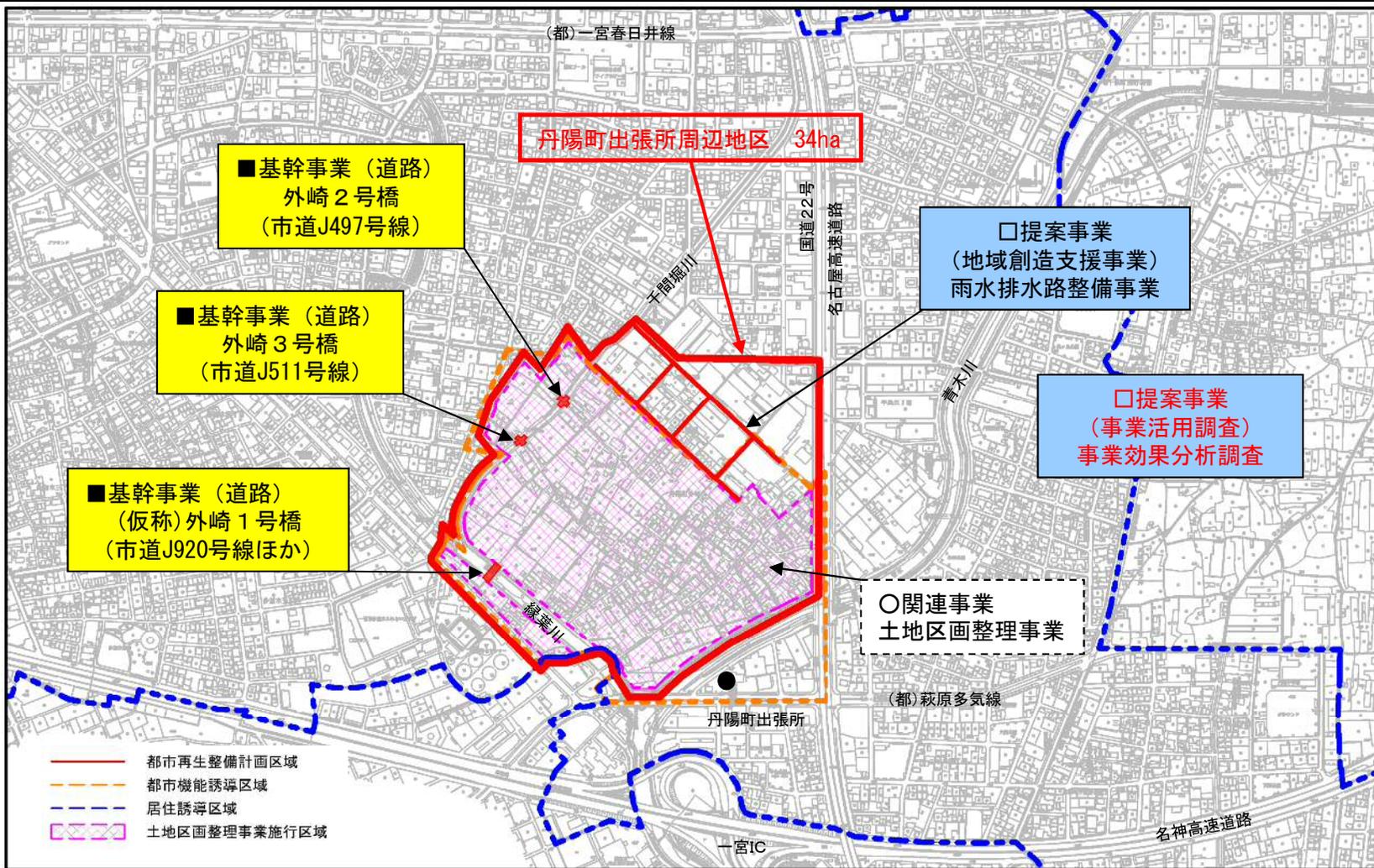
<p>計画区域の整備方針</p> <p>【災害等に対する安全・安心の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業で整備予定の主要な区画道路をつなぐ橋梁の新設及び狭隘な橋梁を拡幅することにより、災害時等における緊急車両の円滑な交通及び避難場所への迅速な通行を確保し、防災性・安全性の向上を図る。 ・本地区の流水阻害となっている橋梁部において、橋梁の架け替えを行い、通水断面を確保することで、防災性・安全性の向上を図る。 ・排水経路を見直し、雨水排水施設を整備することで度重なる浸水被害の軽減を図る。 <p>【河川で分断された地域間の交通利便性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川で分断された地域を橋梁の整備により、地域間の交通の利便性を向上させ、地域コミュニティの活性化により快適なまちづくりを目指す。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>■基幹事業</p> <p>道路：(仮称)外崎1号橋(市道J920号線ほか) 外崎2号橋(市道J497号線) 外崎3号橋(市道J511号線)</p> <p>□提案事業</p> <p>地域創造支援事業：雨水排水路整備事業 事業活用調査：事業効果分析調査</p> <p>■基幹事業</p> <p>道路：(仮称)外崎1号橋(市道J920号線ほか) 外崎2号橋(市道J497号線) 外崎3号橋(市道J511号線)</p>
<p>その他</p> <p>【計画管理について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区では平行して土地区画整理事業により継続的にまちづくりが行われているが、この土地区画整理事業の進捗管理を確実に実施していく。 	

丹陽町出張所周辺地区(愛知県一宮市)	面積 34 ha	区域 丹陽町外崎の一部と丹陽町三ツ井の一部
--------------------	-------------	--------------------------



丹陽町出張所周辺地区(愛知県一宮市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	誰もが安心・快適に暮らせるまちづくり	代表的な指標	防災対策への満足度 (%)	20.7	(R2年度)	→	22.8	(R7年度)
			緊急車両の到着時間 (%)	100	(R2年度)	→	70	(R7年度)
			まちづくり勉強会等への参加人数 (人)	85	(R1年度)	→	95	(R7年度)



凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業